

団体名：いのちのミュージアム群馬実行委員会

3. 事業計画	
事業名	生命のメッセージ展「いのちの授業」
目的	<p>■被害者の等身大の人型ボード（メッセンジャー）を展示しメッセンジャーの思いを伝えたい ■メッセンジャーと対峙し「いじめ・事件事故・交通事故・医療過誤」これらの撲滅を訴える ■いじめや事件事故の抑止につなげたい。 ■2018年度より小中学校の道徳の教科書に「生命のメッセージ展」の活動が取り上げられます。「いのちの学びの場」として「生命のメッセージ展」を教育現場において活用する「いのちの授業」ミニメッセージ展巡回展示を行う</p>
目標	<p>いじめ・事件事故・交通事故・医療過誤等の理不尽に命を断たれた被害者の等身大の人型ボード（いのちのメッセンジャー）を展示し被害者・被害者家族の思いを伝える「いのちのメッセージ展」を日本各地にて巡回展示していました。 東京都日野市において常設展示形式の「いのちのミュージアム」が廃校利用によって開校いたしました。メッセンジャーの胸元に掲げられたメッセージに向き合う事で「自分の命」「周囲の人たちの命」「命のつもり」が断たれる事件事故の抑止となる役目を担うメッセンジャーの常設展示「いのちのミュージアム」の会場となる場として廃校利用の「いのちのミュージアム」常設展示に教育委員会・廃校管理市町村からの理解を求め実現したい。</p> <p>群馬県内に常設展示形態の「いのちのミュージアム」を開校するべく「いのちのミュージアム群馬実行委員会」を発足し群馬県内において「いのちのミュージアム」常設展示開設を目指す</p>
計画	<p>■2018年9月中旬群馬県庁にて「生命のメッセージ展in群馬県庁Ⅱ」開催。警察学校の学生たちに開催準備や閉幕に参加いただきメッセンジャーとの触れ合を通して被害者に寄り添う心を育てたい ■2018年11月下旬開催、桐生市桜木中学校においてミニメッセージ展開催、いのちのミュージアム群馬実行委員会と在校生と父兄によるミニメッセージ展を開催「いのちの授業」 ■2018年「生命のメッセージ展inわたらせ分校Ⅱ」開催、みどり市コミュニティーセンターにて「いのちのミュージアム」形態開催</p>
事業成果物	チラシ・ポスター・学生たちからの手紙「いのちを思う」
開始予定年月日	2018年 04月 01日
終了予定年月日	2019年 03月 31日
備考（補足事項）	